

ご挨拶

理事長 宮本宣義



二〇一二年明けましておめでとうございます。

二〇一二年は、先代 宮本政義が一九六二年に岡山駅前
に医院を開業して以来、五十年目という節目の年となります。開業当時の日本は高度成長期で、若い患者様が多く、小児股関節脱臼、腰椎ヘルニアなどが治療の中心でした。

最近では超高齢社会になり変形性関節症、変形性脊椎症の治療の患者様が増加し、その基礎疾患として糖尿病、高脂血症、高血圧などの内科的疾患が合併症として認められ、リハビリを含め総合的な治療が必要な時代になってきております。経済的には昨年は、日本で大地震が発生して二次的な津波による核エネルギーのトラブル、また世界ではギリシャショックなどと、資本主義体制の末路を向かえ生活も深刻になる気がします。

今後とも地域医療に貢献できるように職員一同、逆風にも負けず頑張っていきたいと考えておりますので宜しくお願ひ申しあげ新年の挨拶とさせていただきます。

病院の理念

患者様が安心して医療を受けることができる
やさしい病院を目指します。

基本方針

患者様の人間としての尊厳、人権、プライバシーを守り、快適な療養環境を提供します。専門職としての自覚を持ち、常に最良の医療を提供できるように技術や知識の習得に努めます。多職種との協働により患者様のQOLの維持向上を目指します。

患者様の権利

- ①患者様には常に1人の人間として人格を尊重され医療提供者と協力関係を築きよりよい医療を受ける権利があります。(パートナーシップ)
- ②患者様には常に公平に医療を受ける権利があります。
- ③患者様には原則自分の医療を決定する権利があります。
- ④患者様には医療の内容、治療方針、検査内容、危険性などについてわかりやすい言葉で説明を受ける権利があり、且つ他の医師に意見を求める権利があります。(セカンドオピニオン)
- ⑤患者様には不当に拘束をされたり苦痛を与えられたりすることなく病状等に応じて専門的な対応と援助を受ける権利があります。
- ⑥患者様には原則プライバシーを侵害されない権利があります。
- ⑦患者様にはご自分の診療録の開示を求める権利があります。

インフルエンザについて ~医師の立場から~

内科医師 坂 口 基



平成21年に新型インフルエンザが世界的に流行しましたが、幸い毒性の強いウイルスではなく翌年には話題となることも減り、平成23年3月からは「新型」と呼ばないことになりました(従来型のインフルエンザと同じ扱いになったわけです)。

今年もインフルエンザが流行する季節になりました。予防には「ワクチンの接種」、「室内の加湿」、「外出後の手洗いとうがい」、「十分な休養」が重要ですが、もし発熱、関節痛などが出現した場合にはインフルエンザを発症しているかもしれません。成人なら内科、小児なら小児科を受診して検査を受けることをお勧めします。現在ではほとんどの内科、小児科でインフルエンザの迅速な診断が可能になっています。もしインフルエンザであれば抗インフルエンザ薬(体内でのウイルス増殖を抑制する薬剤)を適切な時期(発症から48時間以内)に開始すると、発熱期間は通常1~2日間短縮され、ウイルス排出量も減少します。タミフルという薬を内服した10歳以上の未成年患者では異常行動の副作用が疑われておりますが、それ以外の薬剤もありますのでご相談下さい。



インフルエンザ検査キット

インフルエンザ予防接種料金 (当院規定)

- 一般：3,000円
- 子ども(12歳まで)：一回目・二回目 3,000円

※上記はH24年1月からの料金。

※65歳以上の方は公費負担があるため10月から12月までの接種は2000円

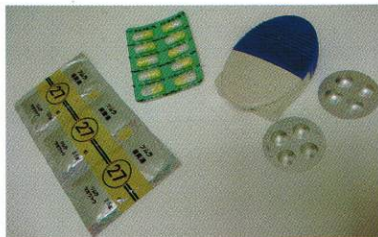


インフルエンザについて ~薬剤師の立場から~

薬局部長 岡 三佐子



普通の風邪の多くは、喉の痛み、鼻汁、くしゃみや咳等の症状が中心で、全身症状はあまりみられません。一方、インフルエンザは38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等の全身の症状が突然現れますが、同時に普通の風邪症状と同じ、喉の痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。お子様ではまれに痙攣や意識消失等の脳症、御高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を併発する事があります。インフルエンザウィルスはA型、B型、C型に大きく分けられますが、大きな流行の原因となるのはA型とB型です。現在国内で流行しているインフルエンザはA型のH1N1亜型とH3N2亜型(いわゆる香港型)、B型の3種類です。平成21年に流行した新型(ブタ)インフルエンザについては平成23年3月31日に通常の季節性インフルエンザとして扱うことになり、4月1日以降その名称についても「インフルエンザ(H1N1)2009」となりました。又、H1N1亜型のウィルスの中でも、平成21年より前に季節性として流行していたもの(いわゆるソ連型)は平成21年の新型インフルエンザ(H1N1)発生後は殆ど姿を消しています。さて、インフルエンザの予防は、外出後の手洗い、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取が勿論大事ですが、最も有効な手段は流行前のワクチン接種と思われる。たとえ接種後、インフルエンザに罹ってしまった場合でも、重症化を防止するのに有効とも言われています。尚、今年度から小児に対する接種量が変更になっていますので、小さいお子様のおられる家庭ではご注意ください。ところで、インフルエンザにかかっているかどうかを確実に、迅速に診断できるキットの登場も治療の追い風になっています。10分前後でA型・B型の診断が出来るようになりました。その上、治療薬の選択肢も広がってきています。最近では内服薬や吸入薬に加えて、1回だけでよい注射薬も発売されました。当院でも、タミフルカプセル(内服薬)をはじめ、リレンザ(吸入薬)や麻黄湯(内服薬)等、患者様の年齢や症状に応じた薬剤で治療にあたっております。いずれにしても、これらの治療薬は、発症後早期での使用でより高い効果が期待できますので、なるべく早い受診をお勧めします。



麻黄湯・タミフル・リレンザ

宮本整形外科病院からの お知らせ

■ 高校生の病院見学 (H23年10月12日)



岡山理科大学付属高校 医療進学コースの生徒が授業の一環として見学しました。当院のスタッフより将来の職業選択の一助になればと、各職種の説明をさせて頂きました。

■ “はつらつ体操” (H23年10月30日) を開催しました



青い山脈で
楽しく体操を
しました。



地域の方々とのふれあい会として企画しました。今回が初めての方、去年に引き続き参加して下さい。本当にありがとうございました。

今年も職員一同、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

地域ふれあい委員会

本院外来診療時間

| | | 午 前 | | 午 後 | |
|-----|-------|------------|-------|-------------|--|
| 整 形 | 月～金 | 9:00～12:00 | 月～金 | 15:00～18:00 | |
| | 土 | 9:00～12:00 | 土 | 午後なし | |
| 内 科 | 月・水・木 | 8:45～12:00 | 火・水・金 | 16:00～18:00 | |
| | 火・金 | 9:00～12:00 | 月・木 | 15:00～18:00 | |
| | 土 | 8:45～12:00 | 土 | 午後なし | |

注) 火・木の午後は手術日となっております。整形外科午後外来の時間が変更となる場合がありますので、ご注意いただきますようお願いいたします。

駅前診療所診療時間

| | | 午 前 | 午 後 |
|-----|-----|------------|-------------|
| 整 形 | 月～金 | 9:00～12:00 | 15:00～18:00 |
| | 土 | 9:00～12:00 | 午後なし |
| 内 科 | 火・金 | 9:00～12:00 | 午後なし |

本院外来診療担当医師

| | | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----|-----|----|-------|----|----|----|----|----|
| 本 院 | 整 形 | 午前 | 安井/織田 | 宮本 | 安井 | 堅山 | 堅山 | 宮本 |
| | | 午後 | 宮本 | 宮本 | 和気 | 堅山 | 和気 | — |
| 内 科 | 午前 | 石岡 | 坂口 | 石岡 | 石岡 | 坂口 | 石岡 | |
| | 午後 | 小塚 | 坂口 | 坂口 | 小塚 | 坂口 | — | |

本院所在地

岡山市中区国富4-2-63

☎(086)272-1211 FAX(086)271-5554

駅前診療所

岡山市北区錦町2-8

☎(086)225-2311 FAX(086)225-2312